



2018.9

発行：共生会グループ  
 編集制作：医療法人共生会 経営企画部  
 〒088-3465 川上郡弟子屈町川湯温泉 4-8-30  
 TEL 015-483-3121  
<https://www.hi-izurutokoro.com/>

## 中国から視察団が来訪

2018年7月30日、31日の2日間にかけて、中国企業の理事長、副社長、同グループ企業の観光・旅行部門会社の社長と通訳の4名が川湯の森病院を訪れ、医食同源・自給自足の取り組みについて視察しました。今回の視察のきっかけは、以前、非常勤で勤務されていた先生が、ちょうど中国企業グループが進めていた事業のモデルが日本にあるとして、当院を同グループに紹介したこと。当院の取り組みを参考にしたいとの同グループの意向に協力し、実現しました。

温泉熱を利用した床暖房システムや温室ハウス、医療の現場を視察。「エネルギー」から「食」まで自給自足を目指す取り組みやシステム、ノウハウを熱心に質問や写真撮影をしていました。

視察団の皆さんが驚いていたのは、病院内の環境でした。消毒臭くない、明るい病棟の雰囲気好印象だったようです。

また、中国との連携では、9月4日にも、中国現地法人企業16名が視察に訪れました。更に9月9日～12日には、こちらから中国の企業へ視察に行ってきました。

共生会グループでは、今年初めに台湾人看護師の研修受け入れ等も行いました。今後も世界との交流・連携を行い発展していきます。



共生会グループ

Tomoni Ikiru Kai

川湯の森病院

Smart Clinic  
 Tokyo  
 Oiemachi  
 Clinic

清里クリニック

社会福祉法人  
 てつなぎ

住宅型有料老人ホーム  
 森の家しらかば

## 2018年9月3日 東京大手町スマートクリニック開院

東京大手町に2018年9月より『医療法人共生会 東京大手町スマートクリニック』を開院しました。

スマートクリニックは、めまぐるしく変化を遂げる現代社会において、医療に課せられた mission、果たすべき vision、さらにその value を地域の診療所において実現すべく誕生いたします。

私たちの診療のコンセプトは、現代社会の歪みを背景に、複雑、多岐に渡って多様化した病気を、根源から見つめ直すことにあります。一般内科から始まり、脳神経外科疾患、心臓循環器科、およびメンタル・ヘルス。さらに当院の特徴として高齢化社会における認知症の問題点と、早期に介入すべき軽度認知障害（MCI:Mild Cognitive Impairment）等に最先端の救急医療から得た技術と知識、北海道（僻地診療）の大自然を背景に培った力と経験を集約し、日本の中心・丸の内において（組織視点からの will / 社会視点からの must を重視）オンライン診療も活用し“スマート”に展開します。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



院長 稲葉 泉



101-0047  
東京都千代田区内神田 1-6-3 南特許ビルディング 3F  
TEL 03-5244-5355  
FAX 03-5244-5356  
URL <https://www.tyo-smart.com/>

## 平成 30 年 北海道胆振東部地震

9月6日未明に発生した「平成30年 北海道胆振東部地震」は、北海道で初めてとなる震度7を観測しました。胆振地方を中心とした道央圏では、土砂崩れ、家屋の倒壊、液状化現象などの被害があり、さらにはその後に起きた全道停電という大災害となりました。

震源から250km以上離れた弟子屈町川湯温泉地区でも、震度3を記録し、地震直後から停電となりました。非常時に備え、自家発電用の軽油の確保、各所に非常用バッテリーや非常用コンセントの設置を進めていたため、トイレも井戸水利用で使用でき、食事については備蓄米や農園課の自家野菜などを有効活用し震災当日はもちろん、物資の輸送が滞っていた数日の間も通常通り患者さんに提供出来ました。また通信機能が切断されている弟子屈地区でしたが当院では通信機能も通常通りでしたので、電話やインターネットで情報収集をして、断水している網走方面に、摩周湖の伏流水をピストン輸送も行いました。

漆黒の闇で煌めく星空の中、病院関連施設だけが煌々と明るく地域を照らしていました。

川湯の森病院は、太陽光発電をはじめ、温泉熱発電を導入し電力の自給自足を目指して取り組んでいます。今後もエネルギーと食を含めた自給自足をさらにすすめ、災害に対して更なる強い性能を盛り込み、どんな災害がこようとも入院患者さんが快適に過ごせるように、また地域の方々に対する支援拠点となれるよう努力してまいります。

最後に犠牲になられたの方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。一刻も早く復旧される事を心からお祈り申し上げます。

※ 被災地への支援として、当院のリハビリテーション課スタッフによる、「避難所でも簡単に出来るエコノミークラス症候群予防体操」の動画を作成し、フェイスブックやYouTubeに投稿するなど、病院ならではの支援もおこないました。是非ご覧ください。

